



Infor LN 販売 マージン管理ユー ザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	salesmcug (U9842)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017 年 12 月 21 日

目次

文書情報

第1章 概要および設定.....	7
マージン管理の概要.....	7
マージン管理の設定.....	7
マージン管理のタイプ.....	7
マージン管理の使用.....	8
第2章 タイプ.....	9
マージン管理のタイプ.....	9
(価格) マージン管理.....	9
詳細レベルの総マージン管理.....	9
ヘッダレベルの総マージン管理.....	10
第3章 使用量.....	11
マージン管理の使用.....	11
付録A 用語集.....	15
索引	

文書情報

この文書では、マージン管理を設定して使用する手順を説明します。この機能によって、指定したマージンを超える価格の販売見積または販売オーダーを処理する方法が決定されます。

前提とする知識

このガイドを読む上で、LN ソフトウェアに関する詳細な知識は不要ですが、Infor LN の機能の一般知識があるとこのガイドの理解に役立ちます。

本書の概要

次の表にこのガイドの各章を示します。

章番号	章タイトル	内容
第 1 章	概要および設定	マージン管理の概要および設定
第 2 章	タイプ	マージン管理のタイプ
第 3 章	使用量	マージン管理の使用

参照

このガイドは、マージン管理の第 1 の参照先として使用します。このガイドで説明されていない情報を調べるには、次の関連参照先の最新版を使用してください。

- 販売マスタデータユーザガイド U9839 JA
販売マスタデータの設定を理解するために使用します。
- 販売見積ユーザガイド U9841 JA
販売見積手順を理解するために使用します。
- 販売オーダーユーザガイド U9845 JA
販売オーダー手順を理解するために使用します。
- 価格設定ユーザガイド U9179 JA
価格設定機能を理解するために使用します。

本書の読み方

本書はオンラインヘルプのトピックを集めてまとめたものです。そのため、以下の例のようにその他のセクションへの参照が示してあります。

詳細は、「概要」を参照してください。参照セクションを見つけるには、本書の目次または巻末の索引を参照してください。

下線の付いた用語は、用語集の定義へのリンクが付いていることを示しています。本書をオンラインで表示する場合は、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動します。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいますようお願いいたします。

マージン管理の概要

マージン管理を使用して、標準品目について作成された販売オーダーと見積のマージンを管理できます。販売見積または販売オーダーの正味価格が、定義されたマージンを超える場合、適切なアクションが実行されます。たとえば、オーダーのマージンが上回る場合、オーダーはブロックされます。

マージン管理の設定

マージン管理を使用するには、次のマスタデータを指定します。

1. 販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションで、マージン管理に関する次のパラメータを指定します。
 - [マージン管理]
 - [ヘッダの総マージンチェック]
 - [ラインの総マージンチェック]
 - [マージン管理の目標価格]
 - [事前定義保留理由 - マージン管理]
2. マージン管理パラメータ (tdsls0120m000) セッションで、販売オーダーまたは見積が、指定されたマージンの範囲外になる場合に行う必要があるアクションを指定します。
3. そのオーダータイプについて総マージン管理を実行する場合は、販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションの [総マージン管理] チェックボックスをオンにします。
4. マージンを超過したためにブロックされた販売オーダー/見積をユーザがブロック解除できる場合は、販売ユーザプロファイル (tdsls0139m000) セッションの [マージン保留オーダー発行可] チェックボックスをオンにします。
5. 品目 - 販売 (tdisa0501m000) セッションおよび販売先取引先 (tccom4110s000) セッションで次の項目を指定します。
 - 上限マージン (目標価格を超過できる割合)
 - 下限マージン (価格が目標価格を下回ることができる割合)

マージン管理のタイプ

次のマージンタイプを指定できます。

- (価格) マージン管理
- 詳細レベルの総マージン管理

- ヘッダレベルの総マージン管理

詳細は、次の情報を参照してください: マージン管理のタイプ (ページ 9)

マージン管理の使用

マージン管理が実装されている場合、販売オーダーまたは見積を指定すると、いくつかのチェックが自動的に実行され、過剰なマージンがログに記録されます。

詳細は、次の情報を参照してください: マージン管理の使用 (ページ 11)

マージン管理のタイプ

(価格) マージン管理または総マージン管理のパラメータを指定するには、事前に販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションで [マージン管理] チェックボックスをオンにする必要があります。次に、使用するマージン管理のタイプを決定できます。

(価格) マージン管理

(価格) マージン管理の場合、目標価格および販売価格の比較および評価が、品目 - 販売 (tdisa0501m000) セッションに指定されているマージン範囲を基準にして行われます。

販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [マージン管理の目標価格] フィールドに応じて、目標価格は次の価格になります。

- 品目 - 販売 (tdisa0501m000) セッションの販売価格
- 品目 - 販売 (tdisa0501m000) セッションの希望小売価格
- 品目 - 原価計算 (ticpr0107m000) セッションから取得された品目の標準原価
- 価格設定での検索後に見つかった販売価格

注意

品目が有効化コードである場合、更新価格が販売価格、希望小売価格、および販売価格に含まれています。特定の有効化コードの更新価格は、有効化コード (tcuef0102m000) セッションで表示できます。

詳細レベルの総マージン管理

総マージンを詳細レベルで管理するには、販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションで次の操作を行います。

- [ラインの総マージンチェック] チェックボックスをオンにします。
- 営業利益率を計算する [営業利益計算の基準価格] フィールドを指定する

総マージン管理の場合、目標価格は常に品目 - 原価計算 (ticpr0107m000) セッションまたは有効化コード (tcuef0102m000) セッション (有効化コードが使用される場合) に指定されている品目の標準原価です。目標価格と販売価格を使用して、営業利益率が計算されます。この利益率は、品目 - 販売 (tdisa0501m000) セッションで定義されているマージン範囲を基準に評価されます。

ヘッダレベルの総マージン管理

総マージンをヘッダレベルで管理するには、販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションで次の操作を行います。

- [ヘッダの総マージンチェック] チェックボックスをオンにします。
- 営業利益率を計算する [営業利益計算の基準価格] フィールドを指定する

総マージン管理の場合、目標価格は常に品目 - 原価計算 (ticpr0107m000) セッションまたは有効化コード (tcuef0102m000) セッション (有効化コードが使用される場合) に指定されている品目の標準原価です。目標価格と販売価格を使用して、営業利益率が計算されます。この利益率は、販売先取引先 (tccom4110s000) セッションで定義されている、特定のオーダーまたは見積のマージン範囲を基準に評価されます。

マージン管理の使用

マージン管理を使用している場合、販売オーダーまたは見積を指定するといくつかのチェックが実行され、過剰なマージンがログに記録されます。

次のステップが実行されます。

1. 販売オーダーまたは見積を指定しているユーザのログインコードに対応するマージン管理パラメータが検索されます。ログインコードごとに、マージン管理パラメータにより、販売価格がマージンの範囲外になった場合に実行する必要があるアクションが決まります。特定のユーザのログインコードに対応するマージン管理パラメータが存在しない場合、そのユーザが指定した販売オーダーまたは見積にはマージン管理が使用されません。
2. 許容されるマージン差異の品目販売データと販売先取引先データがチェックされます。この差異は、割合として定義され、チェックされるマージンのタイプに応じて目標価格または標準原価と比較されます。
3. 次のいずれかが決定されます。
 - (価格) マージン管理の場合は、品目の目標価格。目標価格は、販売価格、標準原価、希望小売価格、または価格構造で定義された価格にすることができます。マージン範囲の決定のために品目販売データで定義されているように、目標価格は上限マージンまたは下限マージンで乗算されます。
 - 総マージン管理の場合、品目原価計算データから取得された品目の標準原価。品目販売データまたは販売先取引先データで定義されているように、標準原価は上限マージンまたは下限マージンで乗算されます。
4. 販売オーダーまたは見積ラインに定義された正味価格がチェックされます。この価格がマージン範囲に収まる場合、オーダーが処理されます。価格が許容マージンの範囲外である場合、マージン管理パラメータ (tdsls0120m000) セッションでユーザに指定されたアクションが実行されます。
5. マージンを超過して、ログに記録する必要がある販売オーダーまたは見積は、次のセッションで表示できます。
 - 許容マージン未満/超過の販売オーダー (tdsls4518m000)
 - 許容マージン未満/超過の販売見積 (tdsls1518m000)マージンを超過しており、ブロックする必要がある販売オーダーは、次のセッションで表示できます。
 - ブロック販売オーダー (ライン) (tdsls4520m000)
6. マージンを超過した販売オーダーまたは見積のログに記録されたインスタンスは、これらのマージンがなくなったら許容マージン未満/超過販売オーダーのマージンログの削除

(tdsls4218m000) セッションまたは許容マージン未満/超過販売見積のマージンログの削除 (tdsls1218m000) セッションで削除できます。

注意

- 販売オーダーまたは見積が、定義されたマージンの範囲外になる場合、複数のアクションを一度に実行する必要があります。たとえば、LN では見積またはオーダーを警告、ログ、およびブロックできます。
- マージンのガイドラインが原因でオーダーがブロックされる場合、価格を修正した後もブロックをマニュアルで削除する必要があります。
- ブロックは、オーダータイプにブロックステップとして指定されたステップで発生します。

例

品目 1 は、次のデータが適用されます。

- 目標価格は販売価格と同一で、500 ドルです。
- 上限マージンは 25% です。
- 下限マージンは 10% です。
- 標準原価は 389 ドルです。

さらに、次のデータが適用されます。

- 品目 2 の標準原価は 317 ドルです。
- 販売先取引先 NS Materieel の場合、上限マージンが 20%、下限マージンが -5% です。
- NS Materieel は、品目 1 を 600 ドルで 25 個オーダーし、品目 2 を 515 ドルで 25 個オーダーしました。

この結果、次のマージンチェックが計算されます。

- (価格) 品目 1 のマージンチェック
このチェックの式は次のとおりです。
 - 上限マージン = 目標価格 × (1 + 上限マージンの割合)
 - 下限マージン = 目標価格 × (1 + 下限マージンの割合)
- 品目 1 のラインレベルでの総マージンチェック
- ヘッダレベルでの総マージンチェック

(価格) 品目 1 のマージンチェック

上限マージン	$500 \times (1.25) = \$625$
下限マージン	$500 \times (.9) = \$450$

正味販売価格は 600 ドルのため、マージンは超過しません。

品目 1 のラインレベルでの総マージンチェック

上限マージン	$\$389 \times (1.25) = \486.25
下限マージン	$\$389 \times (.9) = \350.10

正味販売価格は 600 ドルのため、上限総マージンは超過しません。

ヘッダレベルでの総マージンチェック

両方の品目の標準原価	$\$389 + \$317 = \$706$
上限マージン	$\$706 \times (1.2) = \847.20
下限マージン	$\$706 \times (1.05) = \741.30
両方の品目の正味販売価格	$\$600 + \$515 = \$1115$

正味販売価格は 1115 ドルのため、上限総マージンは超過しません。

有効化コード

有効化構成品目に関する差異をモデル化するために使用する、販売オーダーラインやプロジェクト成果物ラインなどの参照番号

マージン管理

品目の販売オーダーまたは見積価格が指定の目標価格と大幅に異なるかどうかを管理する販売サブモジュール。目標価格との偏差を許可する正味販売価格の割合は、許容マージンとして知られています。

更新価格

有効化構成 (UEF) の要件に対して定義されている価格。この要件が有効化コードの構成で使用されている場合、更新価格は有効化コードの販売価格に加算されます。

総マージン

販売利益から固定および変動の両方の製造原価をすべて差し引いた値

マージン

目標価格との偏差を許可する正味販売価格の割合

目標価格

マージン管理計算の基準となる価格

目標価格は次のいずれかの価格になります。

- 販売価格
- 希望小売価格
- 品目の標準原価
- 価格設定の検索アクション後に検索された販売価格

目標価格および販売価格は、品目ファイルに登録されたマージン制限に関して評価されます。

索引

有効化コード, 15
マージン管理, 15
 タイプ, 9
 概要, 7
 使用, 11
 例, 12
更新価格, 15
総マージン, 15
マージン, 15
目標価格, 15
